

## 外観



1992年に前身の東京製作所より筑波製作所に移転。豊かな自然環境の中で超硬切削工具の研究開発と製造を展開。最先端の技術を見学するために、国内外から年間約800名のお客様が見学に訪れる。

## トイレ入口



木目の扉と光るサインが端正な印象のもと利用者を温かく迎える入口。左右に男女トイレ、正面に多機能トイレが設置されている。トイレの位置が分かりやすいよう、廊下側に突き出しのサインが設置されている。

## 男性トイレ 小便器コーナー



床の清掃性や節水性に優れた壁掛式の自動洗浄小便器を採用。小便器の周りには尿の飛散によるにおいや、汚れを軽減するハイドロセラ・フロアとハイドロセラ・ウォールを採用。

## 男性トイレ 大便器ブース



女性トイレ同様、ネオレストRHを採用。丸みを帯びたやわらかなフォルムが空間のアクセントとなっている。トイレットペーパーを保管する吊棚を設置し、すっきりとした空間となっている。

## 女性トイレ 洗面コーナー



手洗いから乾燥まですべて洗面器ボウル内で行える自動洗面器オートボウルを採用。鏡の下に設けられたカウンター部には化粧ポーチや手荷物などを置くことができる。

## 女性トイレ パウダーコーナー



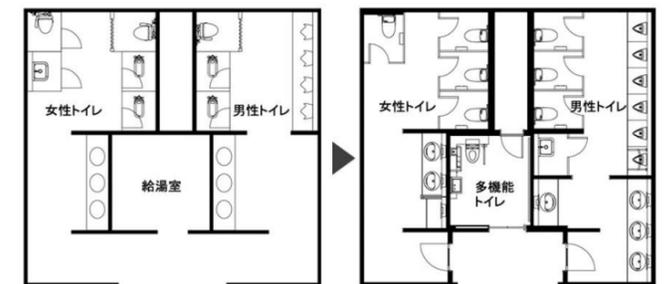
視線を気にせずゆったりとお化粧直しができるように、洗面コーナーとの間に仕切りを設けている。手を触れずにふたが開けられる足踏み式のチャームボックスを設置するなど細やかな配慮が生きている。

## 多機能トイレ



さまざまなお客様の利用に応える多機能トイレ。車いす使用者に配慮し、デザイン性・機能性を兼ね備えたRESTROOM ITEM 01のフラットカウンター多機能トイレパックを採用した。

## トイレ図面



改修前

改修後

改修前は、男女トイレそれぞれに車いす使用者対応トイレ1ヶ所を設置していたが、改修後は給湯室であった空間に、独立した多機能トイレを設置。また、男女とも、すべての大便器ブースを洋式とした。

## 女性トイレ大便器コーナー



木目調の壁に囲まれた、温かみの感じられるトイレ空間。ブース内には間接照明が採用され、落ち着いた雰囲気を出している。

## 女性トイレ 大便器ブース



清潔機能をはじめとした先進技術がやわらかなフォルムに集約されたネオレストRHを採用。女性配慮として、音姫(擬音装置)とフィッティングボードが各ブースに設置されている。

## 建築概要

名称	三菱マテリアル株式会社 筑波製作所
所在地	茨城県常総市古間木1511
施主	三菱マテリアル株式会社
設計	三菱マテリアルテクノ株式会社
施工	三菱マテリアルテクノ株式会社
竣工年月	(改修)2016年7月

## 水まわりの特長

### <改修の経緯>

「三菱マテリアル株式会社」は、非鉄金属やセメントなどを扱う総合素材メーカー。筑波製作所では、金属加工に用いられる切削工具やその素材となる超硬合金などを生産しており、同社加工事業カンパニーの岐阜製作所・明石製作所と並ぶ3拠点のひとつ。世界最高水準の材料製造技術と工具形状加工技術を誇り、国内外から年間約800名のお客様が見学に訪れている。1992年に前身であった東京製作所が筑波の地に移転(筑波製作所)して以来、築20年以上が経過したため、建屋内各設備の改修が進められている。

### <トイレの特長>

「筑波のファンを増やそう」という所長のスローガンのもと、社員により構成された「CS(顧客満足)分科会」のメンバーが改修計画を検討・実施、来訪されるお客様へのおもてなしの心が随所に表れたトイレが完成した。お客様の9割が男性であること、また多人数のお客様の見学会も開催されることから、小便器の器具数を増やすなど男性への配慮を行っている。また、女性への配慮としては、パウダーコーナーやフィッティングボードを設けている。海外からのお客様の来訪など、さまざまなお客様の使用も想定し、大便器の操作パネルを分かりやすいタッチ式にするなど、空間・設備とも随所にきめ細やかな配慮がなされている。